



# ほたるワニ

磐梯第一小学校  
学校だより第11号  
令和3年6月23日  
文責：校長 酒井康雄

## 今の時期しか出合うことができないチョウ！



梅雨の晴れ間、午前9時から正午頃まで活発に行動します。それ以外の時期や時間帯では、なかなか出合うことができません。

オスは、羽根を開くとカワセミのような色に光り輝きます。大きさは羽根を開くと、500円玉くらいです。

特に、オス同士が縄張り争いは、青い光が2つ、3つと飛び交い、宝石が飛んでいるようです。

このようなミドリシジミの仲間は、「ゼフィルス」（ギリシア語で西風という意味）と呼ばれ、チョウが好きな人たちにとって憧れのチョウの一つです。ちなみに写真のチョウは、メスアカミドリシジミといいます。この時期に見つけられたら、とてもラッキーです。ぜひ、磐梯町周辺でも探してみてはいかがでしょうか。

※ ホームページに「学校だより」をカラーで掲載しています。ミドリシジミの羽根の色をぜひご覧ください。  
( 磐梯町ポータルサイト → 磐梯一小のページ → 学校だより → 令和3年度「学校だより」 )

## 校長室に1年生も来てくれました！

昨年度から、校長室に捕まえてきた昆虫をもっててくれる子どもたちがたくさんいます。一番多い学年は3年生、次に2年生です。また、校長室のメダカにえさをあげに来てくれる子どももいます。

火曜日には、1年生が自分の名前をしっかりと名乗って、礼儀正しく入ってきました。1年生は、毎朝、校長室脇のピロティにあるアサガオに水やりをしたり、アサガオの生長を観察したりしています。その際、校長室の窓の外からメダカを見つけ、見に来てくれたのです。メダカの水槽にエビを見つけたり、3年生が捕まえてきたダンボムシを双眼実体顕微鏡で見たりして楽しんでいきました。

少しでも子どもたちの興味関心を引き出す場として、校長室を利用してもらえると私もとてもうれしい限りです。